

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	60,571	19.1	2,316	108.6	2,773	162.7	2,212	75.3
29年3月期第2四半期	50,874	5.0	1,110	—	1,055	360.7	1,261	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 2,907百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △577百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	23.03	—
29年3月期第2四半期	13.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	101,399	31,319	29.6
29年3月期	96,850	28,930	28.6

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 29,993百万円 29年3月期 27,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	1.50	—	2.50	4.00
29年12月期	—	2.50	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	1.50	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,900	—	3,800	—	4,300	—	3,700	—	38.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想に関する注記

当社は、平成29年6月28日開催の第87回定時株主総会において定款一部変更の件を決議し、平成29年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。従いまして、経過期間となる平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月1日から平成29年12月31日の9ヶ月間の予想数値を記載しています。そのため、通期の対前期増減比率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	96,225,501株	29年3月期	96,220,851株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	161,550株	29年3月期	157,639株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	96,063,232株	29年3月期2Q	95,943,356株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(表示方法の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、株高基調の継続などを背景にした国内消費の改善、低金利継続による堅調な住宅着工、円安による外需の回復などから、緩やかな回復傾向を示しました。世界経済においては、北米は雇用指標が引き続き好調な水準を維持しており、中国及びアセアンなどの新興国も総じて景気は堅調に推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内市場では、昨年生じた熊本地震による生産停止の反動などから、国内生産台数は前年同期比で増加となりました。アセアン市場では、タイは国内自動車販売の回復から前年同期比で増加となりましたが、マレーシアとインドネシアが国内販売の不振から前年同期比で減少となり、アセアン3カ国の合計では自動車生産台数は前年同期比で減少となりました。また、中国は、堅調な国内経済に支えられ、自動車生産台数は前年同期比で増加となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、好調な国内受注増やアセアンの海外子会社の業績回復を主因に前年同期比で増収増益となり、売上高は60,571百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益は2,316百万円(前年同期比108.6%増)、経常利益は2,773百万円(前年同期比162.7%増)、また親会社株主に帰属する四半期純利益は2,212百万円(前年同期比75.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、好調な国内受注増並びにアセアンの海外子会社の業績回復を主因に増収増益となり、売上高は56,348百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益は2,482百万円(前年同期比88.1%増)となりました。

#### ② 用品事業

用品事業におきましては、売上高は4,014百万円(前年同期比10.5%増)、営業損失は154百万円(前年同期は営業損失236百万円)となり増収により赤字幅が縮小しました。

#### ③ その他事業

その他事業におきましては、売上高は995百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は16百万円(前年同期比299.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は101,399百万円となり、前連結会計年度末比で4,549百万円の増加となりました。主な要因は、売上の増加により受取手形及び売掛金が1,643百万円の増加、棚卸資産が760百万円の増加、設備投資により有形固定資産が全体で2,026百万円増加したこと等であります。

負債は70,080百万円となり、前連結会計年度末比で2,160百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加726百万円及びリース債務(1年以内返済予定分を含む。)の増加1,240百万円等であります。

純資産は31,319百万円となり、前連結会計年度末比で2,389百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は5,316百万円(前年同期は5,330百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益2,725百万円、減価償却費4,313百万円及びその他流動負債の増加1,124百万円等であり、主な減少要因は売上債権の増加1,668百万円及び棚卸資産の増加727百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は3,026百万円(前年同期は5,896百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出6,084百万円、有形固定資産の売却による収入3,363百万円等によるものであります。

財務活動の結果支出した資金は3,495百万円(前年同期は3,330百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2,412百万円、リース債務の返済による支出2,704百万円、長期借入による収入1,550百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表したものから修正はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,552	10,420
受取手形及び売掛金	20,466	22,109
電子記録債権	903	1,029
商品及び製品	4,004	4,377
仕掛品	534	639
原材料及び貯蔵品	2,857	3,140
繰延税金資産	1,627	1,717
その他	2,481	2,358
貸倒引当金	△312	△270
流動資産合計	44,115	45,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,362	10,441
機械装置及び運搬具（純額）	10,080	11,064
工具、器具及び備品（純額）	2,916	3,071
土地	3,459	3,468
リース資産（純額）	6,313	7,810
建設仮勘定	4,942	4,244
有形固定資産合計	38,074	40,100
無形固定資産		
のれん	658	587
その他	1,460	1,306
無形固定資産合計	2,119	1,894
投資その他の資産		
投資有価証券	5,580	5,995
長期貸付金	978	1,057
繰延税金資産	270	298
その他	5,718	6,535
貸倒引当金	△5	△6
投資その他の資産合計	12,541	13,880
固定資産合計	52,734	55,876
資産合計	96,850	101,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,698	23,425
短期借入金	1,155	1,749
1年内返済予定の長期借入金	4,724	4,223
リース債務	4,234	5,147
未払法人税等	633	568
未払費用	2,881	3,116
賞与引当金	1,825	1,936
役員賞与引当金	64	44
製品保証引当金	1,329	1,374
その他	2,935	3,330
流動負債合計	42,480	44,916
固定負債		
長期借入金	11,992	11,631
リース債務	3,551	3,878
繰延税金負債	678	743
退職給付に係る負債	9,021	8,715
資産除去債務	183	182
環境対策引当金	9	9
その他	2	2
固定負債合計	25,439	25,163
負債合計	67,919	70,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,955	8,957
資本剰余金	2,735	2,476
利益剰余金	17,138	19,110
自己株式	△39	△42
株主資本合計	28,788	30,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,738	2,024
繰延ヘッジ損益	△5	△6
為替換算調整勘定	△2,482	△2,273
退職給付に係る調整累計額	△365	△252
その他の包括利益累計額合計	△1,114	△508
非支配株主持分	1,256	1,325
純資産合計	28,930	31,319
負債純資産合計	96,850	101,399

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	50,874	60,571
売上原価	40,818	48,441
売上総利益	10,055	12,129
販売費及び一般管理費	8,945	9,813
営業利益	1,110	2,316
営業外収益		
受取利息	43	50
受取配当金	92	99
持分法による投資利益	391	592
その他	53	74
営業外収益合計	580	816
営業外費用		
支払利息	192	290
為替差損	402	40
その他	41	28
営業外費用合計	636	360
経常利益	1,055	2,773
特別利益		
固定資産処分益	6	16
特別利益合計	6	16
特別損失		
固定資産処分損	30	64
和解金	187	—
特別損失合計	218	64
税金等調整前四半期純利益	843	2,725
法人税等	△420	457
四半期純利益	1,263	2,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,261	2,212



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,263	2,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	285
為替換算調整勘定	△1,019	322
繰延ヘッジ損益	2	△0
退職給付に係る調整額	99	112
持分法適用会社に対する持分相当額	△784	△80
その他の包括利益合計	△1,841	639
四半期包括利益	△577	2,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△462	2,819
非支配株主に係る四半期包括利益	△115	88

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	843	2,725
減価償却費	3,393	4,313
のれん償却額	87	98
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	108
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△113	43
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70	△259
受取利息及び受取配当金	△136	△150
支払利息	192	290
持分法による投資損益(△は益)	△391	△592
固定資産除売却損益(△は益)	24	47
売上債権の増減額(△は増加)	1,882	△1,668
たな卸資産の増減額(△は増加)	△604	△727
仕入債務の増減額(△は減少)	262	651
その他の流動負債の増減額(△は減少)	70	1,124
その他	326	67
小計	5,709	6,073
利息及び配当金の受取額	116	117
利息の支払額	△185	△294
法人税等の支払額	△309	△579
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,330	5,316
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,076	△6,084
有形固定資産の売却による収入	1,303	3,363
無形固定資産の取得による支出	△59	△62
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
その他	△56	△233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,896	△3,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,070	594
長期借入れによる収入	400	1,550
長期借入金の返済による支出	△2,511	△2,412
セール・アンド・リースバックによる収入	25	—
リース債務の返済による支出	△2,016	△2,704
配当金の支払額	△143	△240
非支配株主への配当金の支払額	△154	△18
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△260
その他	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,330	△3,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	△317	103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,214	△1,101
現金及び現金同等物の期首残高	17,164	11,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,949	10,420

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」については金額的重要性の観点から表示科目の見直しを行い、当第2四半期連結累計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」に表示しておりました△6百万円は、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に組替えて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,056	3,161	50,218	655	50,874
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	471	474	272	746
計	47,059	3,633	50,692	928	51,621
セグメント利益又は損失(△)	1,319	△236	1,083	4	1,087

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,083
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	23
四半期連結損益計算書の営業利益	1,110

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,345	3,546	59,892	679	60,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	468	470	316	786
計	56,348	4,014	60,362	995	61,358
セグメント利益又は損失(△)	2,482	△154	2,328	16	2,344

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,328
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	2,316